

## 第2節 令和2年における県経済の構造分析

### 1 生産の構造

#### 部門別生産額及び構成比

第1次産業	1,369億円	(構成比 2.0%)
第2次産業	3兆 213億円	(構成比 45.0%)
第3次産業	3兆 5,554億円	(構成比 53.0%)

#### (1) 県内生産額の推移

図表4のとおり、令和2年の県内生産額は6兆7,135億円となり、平成27年の7兆3,556億円から8.7%減少しました。なお、対全国シェアは平成27年と同様に0.7%となりました。

図表4 国内・県内生産額及び全国シェアの推移

	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成23年 (2011年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)
国内生産額	6,785,441	8,722,122	9,371,006	9,588,865	9,720,146	9,396,749	10,178,184	10,261,540
<b>県内生産額</b>	<b>59,951</b>	<b>69,338</b>	<b>69,145</b>	<b>66,612</b>	<b>70,671</b>	<b>73,199</b>	<b>73,556</b>	<b>67,135</b>
全国シェア	0.9%	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%

次に、県内生産額の上位・下位5部門をそれぞれ示す図表5から、一部入れ替わりはあるものの、概ね平成27年に近い順位となっていることが分かります。上位については、本県の主要産業である鉄鋼製品製造業が、生産額自体は減少ながらも、平成27年と同じく令和2年も1位となっています。また鉄鋼は対全国シェアも3.1%と比較的高い状況です。なお、2～4位の部門は全国表内の順位でも上位5位以内に入っています。一方、下位については、県内でシェアが無い、もしくは小さい産業を含む部門である情報通信機器製造業や鉱業といった部門が占めています。この2部門は、全国表の中でも下位5位以内にあります。

図表5 部門別県内生産額の上位・下位5部門の状況(37部門)

上位5部門				H27	下位5部門				H27
	部門名	県内生産額	構成比	順位		部門名	県内生産額	構成比	順位
1	鉄鋼	649,258	9.7%	1	31	電気機械	16,896	0.3%	29
2	医療・福祉	597,088	8.9%	3	32	非鉄金属	15,361	0.2%	30
3	商業	499,971	7.4%	4	33	業務用機械	10,645	0.2%	33
4	不動産	499,804	7.4%	7	34	鉱業	965	0.0%	34
5	建設	468,243	7.0%	5	35	情報通信機器	528	0.0%	35

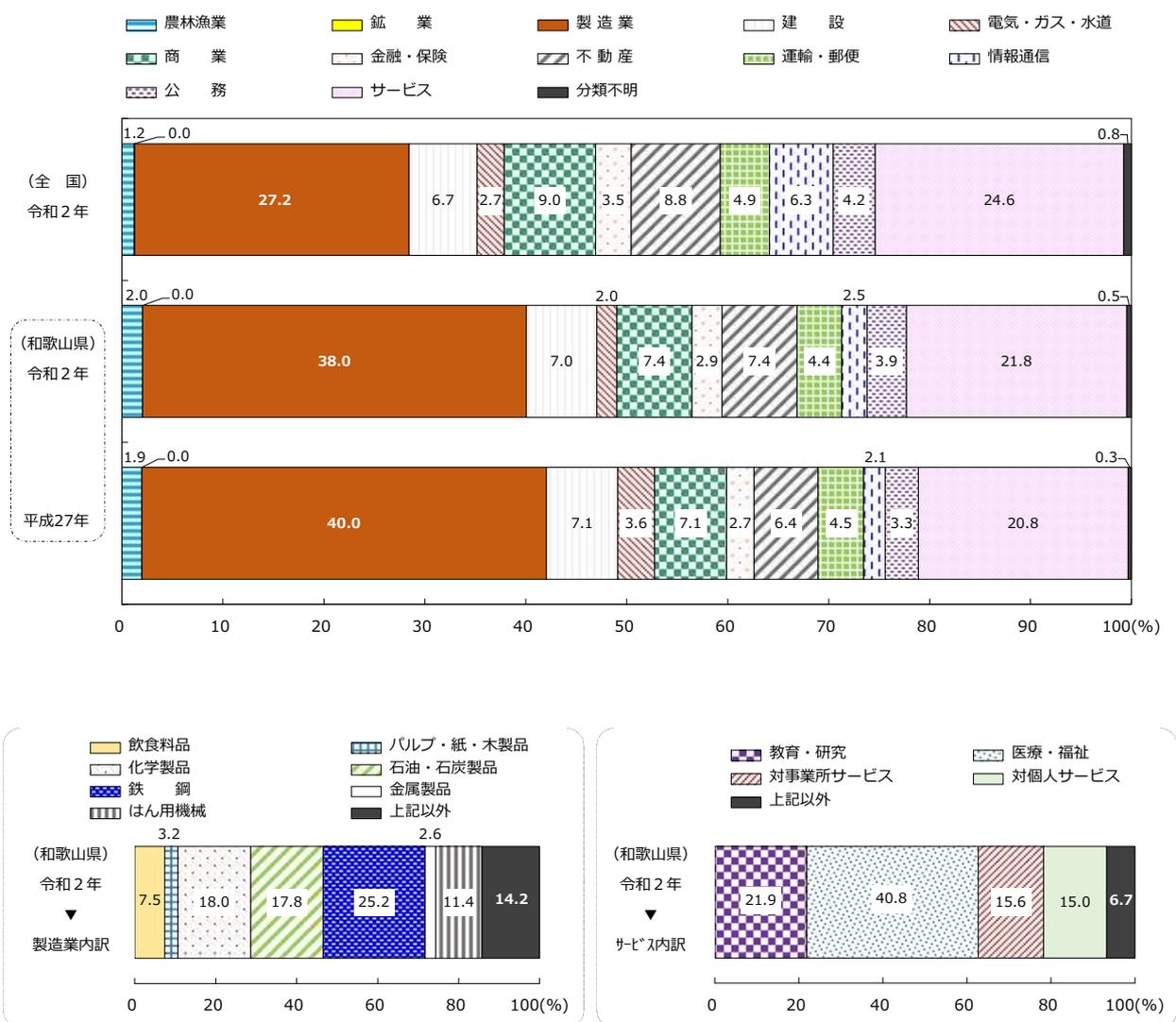
(注) 事務用品及び分類不明は含めていません

## (2) 県内生産額の産業別構成

令和2年の県内生産額の構成比を各産業部門別に見ると、第1次産業は平成27年から0.1ポイント上昇して2.0%に、第2次産業は平成27年から2.2ポイント低下して45.0%に、第3次産業は平成27年から2.1ポイント上昇して53.0%に、それぞれなっています。この詳細を図表6上側の13部門別生産額構成比から把握すると、県内主要産業である製造業が全体の約4割を占め、次いでサービス業、商業、不動産業、建設業となっています。また、全国の産業構成と比較すると、製造業の割合が10ポイント程度高い点から、第2次産業への依存性が高い産業構造が見て取れます。

さらに、13部門で県内シェアが大きい製造業とサービス部門について、内訳を図表6の下側に示しています。まず、製造業は図表5でも挙げた鉄鋼（部門内構成比：25.2%）のほか、化学製品（同：18.0%）や石油・石炭製品（同：17.8%）、はん用機械（同：11.4%）の占める割合が高くなっています。サービス業は、図表5でも示した医療・福祉（同：40.8%）を筆頭に、教育・研究（同：21.9%）、対事業所サービス（同：15.6%）、対個人サービス（同：15.0%）の産業内ウエイトが大きい構造です。

図表6 部門別国内・県内生産額の構成比（13部門・37部門）



(注) 四捨五入により合計が一致しない場合があります

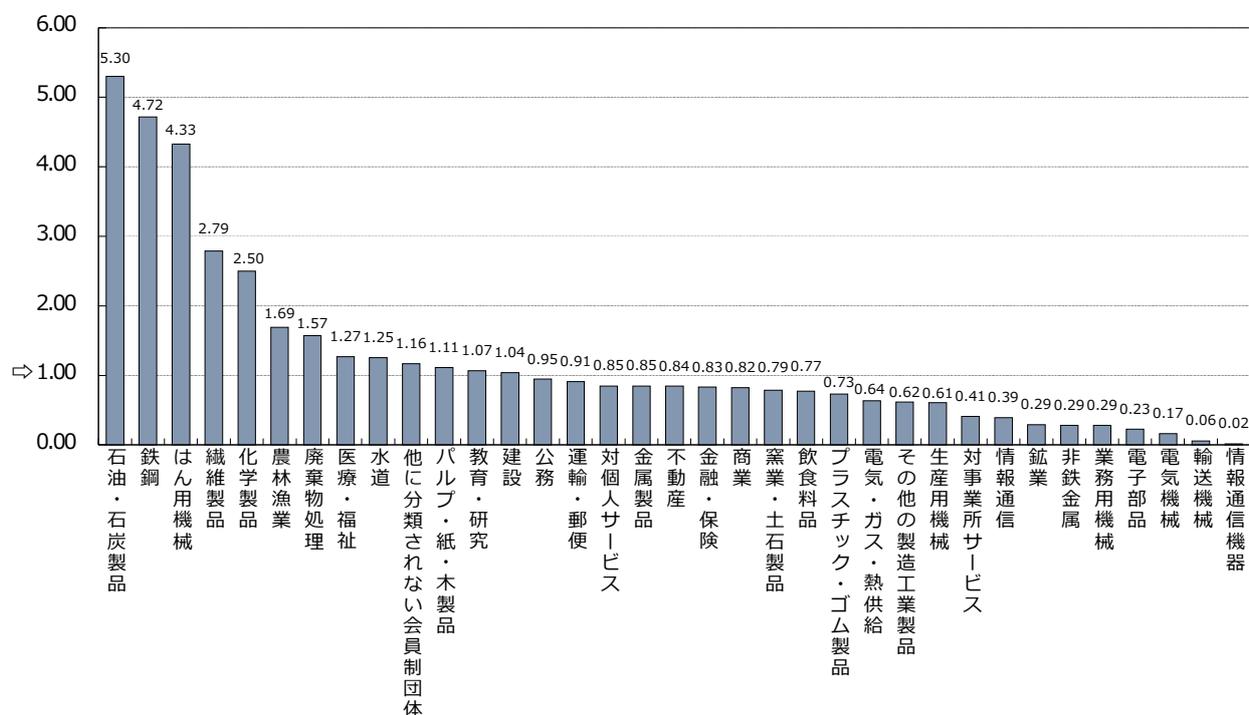
### (3) 部門別の特化係数

続いて本県産業構造の特徴を分析します。図表7に示す特化係数は、各部門別の県内生産額構成比を全国と同構成比で各々割った値で、特化係数が1より大きい場合はその部門が全国と比較して特化しているといい、1より小さい場合はその逆となります。

特化係数が大きい産業を見ると、県内の主要産業である製造業に分類される部門が多く、中でも石油・石炭製品や鉄鋼、はん用機械が突出しており、本県はこれらの部門に特化していることとなります。反対に特化係数が小さい部門は情報通信機器や輸送機械、電気機械といった、県内において生産拠点や企業等の立地が比較的少ない部門です。総括すると、本県の主要産業である製造業の構造は、他部門の生産活動で原材料として利用されるような製品を供給する基礎素材型産業が特に強い反面、加工組立型産業については、強弱入り混じる状態ですが総じて見て弱い傾向と言えます。

図表7 部門別県内生産額の特化係数（37部門）

(特化係数、全国=1.00)



(注) 事務用品及び分類不明は含めていません

最後にここまで概観してきた県内生産額とその構成比、特化係数の平成27年との比較等を一覧にしたものが次頁の図表8です。なお、図表中にある寄与度とは、部門それぞれの変動が生産額合計の変動に対してどの程度影響を及ぼしたかを示す数値で、各部門の寄与度の和は合計値の増減率と一致することになります。例を挙げると、県内生産額の変動率▲8.7%に対し、構成要素の一つである農林漁業の動きからは▲0.08%分の効果が生じたということです。これを踏まえると、平成27年から令和2年にかけての県内生産額減少に対し、第2次産業、第3次産業、第1次産業の順で押し下げ効果が大きかったと言えます。さらに部門を分解すると、第2次産業については鉄鋼や石油・石炭製品のほか建設によるマイナス寄与、第3次産業については電気・ガス・熱供給や対個人サービスによるマイナス寄与が目立ちます。これらの動きは、コロナ禍により全国的に生じた企業の活動水準低下や移動、接触を避ける生活様式が反映された結果であると思料されます。加えて変動率プラスの側にも、支援や対策の中心となった医療・福祉や公務、急速に利用範囲が拡大した情報通信のように、同様にコロナ禍が背景にあると推察される部門がみられます。ただし、全体的として

は、押し上げに寄与した部門による効果を、生産額が減少した部門の下押し効果が上回ったことから、県内生産額全体は減少となりました。

図表8 部門別県内生産額及び特化係数の推移(37部門)

部門名	令和2年		平成27年		対H27比増減			特化係数	
	県内生産額	構成比	県内生産額	構成比	額	率	寄与度	R2	H27
01 農林漁業	136,867	2.0%	142,945	1.9%	▲6,078	▲4.3	▲0.08	1.69	1.53
06 鉱業	965	0.0%	3,371	0.0%	▲2,406	▲71.4	▲0.03	0.29	0.55
11 飲食料品	192,047	2.9%	201,851	2.7%	▲9,804	▲4.9	▲0.13	0.77	0.73
15 繊維製品	53,064	0.8%	65,273	0.9%	▲12,209	▲18.7	▲0.17	2.79	2.52
16 パルプ・紙・木製品	83,211	1.2%	82,263	1.1%	948	1.2	0.01	1.11	0.95
20 化学製品	463,304	6.9%	489,592	6.7%	▲26,288	▲5.4	▲0.36	2.50	2.42
21 石油・石炭製品	459,427	6.8%	613,240	8.3%	▲153,813	▲25.1	▲2.09	5.30	5.04
22 プラスチック・ゴム製品	65,456	1.0%	67,180	0.9%	▲1,724	▲2.6	▲0.02	0.73	0.66
25 窯業・土石製品	33,932	0.5%	43,533	0.6%	▲9,601	▲22.1	▲0.13	0.79	0.95
26 鉄鋼	649,258	9.7%	828,836	11.3%	▲179,578	▲21.7	▲2.44	4.72	4.19
27 非鉄金属	15,361	0.2%	15,194	0.2%	167	1.1	0.00	0.29	0.24
28 金属製品	66,766	1.0%	70,704	1.0%	▲3,938	▲5.6	▲0.05	0.85	0.83
29 はん用機械	294,218	4.4%	250,477	3.4%	43,741	17.5	0.59	4.33	3.31
30 生産用機械	66,047	1.0%	104,332	1.4%	▲38,285	▲36.7	▲0.52	0.61	0.86
31 業務用機械	10,645	0.2%	12,967	0.2%	▲2,322	▲17.9	▲0.03	0.29	0.26
32 電子部品	19,207	0.3%	13,793	0.2%	5,414	39.3	0.07	0.23	0.14
33 電気機械	16,896	0.3%	17,885	0.2%	▲989	▲5.5	▲0.01	0.17	0.15
34 情報通信機器	528	0.0%	2,081	0.0%	▲1,553	▲74.6	▲0.02	0.02	0.05
35 輸送機械	17,961	0.3%	14,903	0.2%	3,058	20.5	0.04	0.06	0.04
39 その他の製造工業製品	35,628	0.5%	41,940	0.6%	▲6,312	▲15.1	▲0.09	0.62	0.58
41 建設	468,243	7.0%	521,866	7.1%	▲53,623	▲10.3	▲0.73	1.04	1.19
46 電気・ガス・熱供給	96,955	1.4%	226,765	3.1%	▲129,810	▲57.2	▲1.76	0.64	1.27
47 水道	37,172	0.6%	41,172	0.6%	▲4,000	▲9.7	▲0.05	1.25	1.25
48 廃棄物処理	61,515	0.9%	53,447	0.7%	8,068	15.1	0.11	1.57	1.51
51 商業	499,971	7.4%	524,634	7.1%	▲24,663	▲4.7	▲0.34	0.82	0.76
53 金融・保険	197,877	2.9%	197,696	2.7%	181	0.1	0.00	0.83	0.77
55 不動産	499,804	7.4%	469,540	6.4%	30,264	6.4	0.41	0.84	0.80
57 運輸・郵便	296,458	4.4%	329,515	4.5%	▲33,057	▲10.0	▲0.45	0.91	0.83
59 情報通信	167,172	2.5%	158,090	2.1%	9,082	5.7	0.12	0.39	0.44
61 公務	263,948	3.9%	241,554	3.3%	22,394	9.3	0.30	0.95	0.84
63 教育・研究	320,929	4.8%	295,870	4.0%	25,059	8.5	0.34	1.07	0.94
64 医療・福祉	597,088	8.9%	590,235	8.0%	6,853	1.2	0.09	1.27	1.21
65 他に分類されない会員制団体	36,372	0.5%	51,810	0.7%	▲15,438	▲29.8	▲0.21	1.16	1.62
66 対事業所サービス	227,881	3.4%	223,183	3.0%	4,698	2.1	0.06	0.41	0.41
67 対個人サービス	220,314	3.3%	314,139	4.3%	▲93,825	▲29.9	▲1.28	0.85	0.79
68 事務用品	9,151	0.1%	9,612	0.1%	▲461	▲4.8	▲0.01	0.94	0.91
69 分類不明	31,902	0.5%	24,154	0.3%	7,748	32.1	0.11	0.63	0.71
<b>合計</b>	<b>6,713,540</b>	<b>-</b>	<b>7,355,642</b>	<b>-</b>	<b>▲642,102</b>	<b>▲8.7</b>	<b>-</b>	<b>1.00</b>	<b>1.00</b>
<b>【第1次産業】=01</b>	<b>136,867</b>	<b>2.0%</b>	<b>142,945</b>	<b>1.9%</b>	<b>▲6,078</b>	<b>▲4.3</b>	<b>▲0.08</b>	<b>1.69</b>	<b>1.53</b>
<b>【第2次産業】=06~41・68</b>	<b>3,021,315</b>	<b>45.0%</b>	<b>3,470,893</b>	<b>47.2%</b>	<b>▲449,578</b>	<b>▲13.0</b>	<b>▲6.11</b>	<b>1.33</b>	<b>1.32</b>
(うち製造業)=11~39・68	(2,552,107)	(38.0%)	(2,945,656)	(40.0%)	(▲393,549)	(▲13.4)	(▲5.35)	(1.40)	(1.35)
<b>【第3次産業】=46~67・69</b>	<b>3,555,358</b>	<b>53.0%</b>	<b>3,741,804</b>	<b>50.9%</b>	<b>▲186,446</b>	<b>▲5.0</b>	<b>▲2.53</b>	<b>0.82</b>	<b>0.81</b>
(うちサービス)=48・63~67	(1,464,099)	(21.8%)	(1,528,684)	(20.8%)	(▲64,585)	(▲4.2)	(▲0.88)	(0.89)	(0.85)

(注) 事務用品を製造業に、分類不明を第3次産業に便宜上含めています